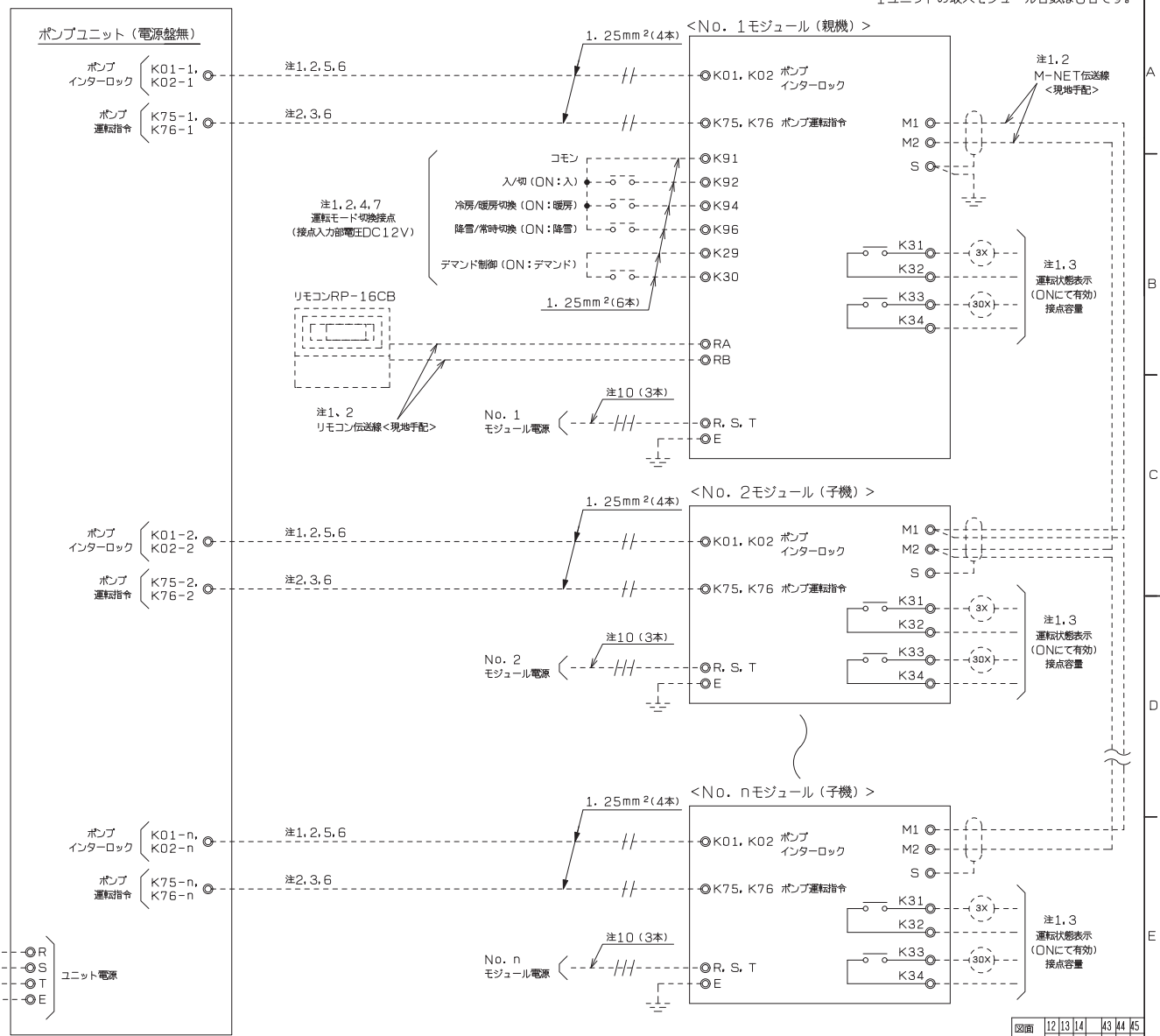


※1. 機種によりモジュール台数が異なります。
1ユニットの最大モジュール台数は6台です。

注意

- 注1. 【重要】設備側の配線施工上の御注意
ノイズによる電子回路の誤動作を防止するため、AC24V以下の低電圧回路とAC100V以上の制御回路の配線を同一多芯ケーブル内へ収納したり、互いに結束して配線しないで下さい。
また、同一管内に入れたり、沿わせたりせず独立して配線して下さい。
(基板内回路の破損防止のため)
参考
AC24V以下の低電圧回路とは、リモコン線、M-NET伝送線、運転モード切換接点。
AC100V以上の制御回路とは、接点出力、ユニット電源電線、モジュール電源電線。
- 注2. 【重要】端子M1, M2, Sの接続に関する御注意。
M-NET伝送線は、端子M1, M2, Sに接続します。
これらの端子については、納入する機器の使用形態により接続方法が異なりますので必ず、添付されている据付工事説明書ならびに、ユニット取扱説明書の内容をご確認のうえ接続工事を行ってください。
※M-NET伝送線については専用の配線と工事が必要です。
<M-NET伝送線について>
① M-NET伝送線は2芯シールド線(鋼造へ付ビニール絶縁電線 CVVS1. 25mm²以上)の電線を使用して下さい。(現地手配)
② シールドアースは確実に接続し、シールドアースは1箇所からのみとして下さい。
③ 伝送線長は500m以下となるように配線して下さい。
<リモコン伝送線について>
① リモコン伝送線は2芯ビニール絶縁電線(CVV 0. 3~1. 25mm²)を使用して下さい。(現地手配)
【注意!】通信エラーの原因となりますので、2芯ケーブル以外は絶対に使用しないで下さい。
② リモコン配線は最長250mまで延長可能です。ただし、10mを超える場合には1. 25mm²(CVV)の電線を手配下さい。(現地手配)
- 注3. 無電圧出力は200V, 500mA未満をお願いします。
注4. 運転モード切換接点は、DC12V電源を内蔵しているので無電圧接点入力をお願いします。
注5. ポンプインターロックは各モジュール毎に必ず入力して下さい。(DC12V供給)
注6. ポンプ運転指令(K75, K76)とポンプインターロック(K01, K02)の配線は配線分離を必ず行って下さい。
電線を同一多芯ケーブルで配線したり、同一電線管に収納することはしないで下さい。(基板内回路の破損防止のため)
注7. 冷房専用機の場合には、冷房/暖房の切換及び出力はありません。
注8. 電源盤~モジュール間の配線は現地手配で、現地工事となります。
詳細は右記配線要領書をご参照願います。
注9. 漏電遮断器はインバータ用(高調波対策品)を使用して下さい。
漏電遮断器の定格感度電流値は200mA以上で、動作時間は0. 1秒以上として下さい。
注10. 漏電ブレーカー、電線サイズは別紙「電気工事仕様書」を参照ください。
注11. 破線は客先工事区分を示します。
注12. 今後の詳細設計により記載内容を変更する場合があります。



図面	12	13	14	43	44	45
コード	8					

CHANGE 改定	REF. EY600734	3RD ANGLE PROJECTION 第3角法	MITSUBISHI ELECTRIC CORPORATION NAGASAKI WORKS			空冷ヒートポンプチラー EAHV-A 空冷冷房専用チラー EAV-A	CAD
	出図用	DIM IN mm	作成日付 DATE	13-5-8	検認 APPROVED	TITLE	配線要領図
	外注用	尺度 SCALE	作成 DRAWN	濱脇	伊藤	EY602230	REV
	計画	照査 CHECKED	石本	設計 DESIGNED			